



2020年10月9日

各位

会社名 アサヒグループホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 小路 明善  
(コード番号 2502 東証第1部)  
問合せ先 執行役員 コーポレート・コミュニケーション部門長  
石坂 修  
(TEL. 03-5608-5126)

## 公募ハイブリッド社債(劣後特約付社債)及び普通社債の 発行条件決定に関するお知らせ

当社は、本日、豪州 CUB 事業の取得に係るブリッジローンのパーマネント化に際して、公募ハイブリッド社債(劣後特約付社債)(以下、「本劣後債」といいます。)及び普通社債(第13回無担保社債)(以下、「本シニア債」といいます。)を下記の条件で発行することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

当社は、豪州 CUB 事業買収に係るファイナンスプランの一環として発行する本劣後債及び本シニア債に関して、本日、発行条件を決定いたしました。本件の調達金額は、総額1兆 1,850 億円のブリッジローンのパーマネント化のため、全額を返済資金の一部に充当する予定です。

当社は、2020年8月25日付「「公募による新株式発行及び自己株式の処分並びに当社株式の売出し」及び「豪州 CUB 事業買収に係るファイナンスプラン」に関するお知らせ」で公表した通り、普通株式による調達(以下、「公募増資等」といいます。)と本劣後債を組み合わせることで資本性評価額 3,000 億円相当の調達を予定しておりました。

当該公募増資等については、本日付「第三者割当増資における発行新株式数の確定に関するお知らせ」で公表した通り、合計約 1,560 億円の調達を実施しており、当社は、本劣後債 3,000 億円(格付上の資本性 50%を想定)との合計で、資本性評価額 3,000 億円相当の調達を完了することとなります。

また、ブリッジローンの残額については、本日発行条件を決定した本シニア債に加えて、ユーロ建普通社債の発行を検討するなど、引き続き国内外の資本市場を活用した社債発行や銀行からのローンによるパーマネント化を予定しております。

なお、公募増資等及び本劣後債による調達が完了することに伴い、2020年6月1日付「公募ハイブリッド社債(劣後特約付社債)の発行及び劣後特約付コミット型シンジケートローンの契約の締結に関するお知らせ」にて公表したバックアップ・プランとしての劣後特約付コミット型シンジケートローンに関する契約については、終了する予定です。

本劣後債及び本シニア債の概要は以下の通りです。

## 本劣後債の概要

(1) 社債の名称	アサヒグループホールディングス株式会社第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)
(2) 社債総額	3,000 億円
(3) 当初利率	年 0.97%(注)
(4) 払込期日	2020 年 10 月 15 日
(5) 償還期限(年限)	2080 年 10 月 15 日(60 年)
(6) 期限前償還	2025 年 10 月 15 日以降の各利払日に当社の選択で期限前償還可能。 また、払込期日以降に税制事由又は資本性変更事由が生じ、かつ継続している場合は、当社の選択で期限前償還可能。
(7) 利払日	毎年 4 月 15 日及び 10 月 15 日
(8) 利払の任意停止	当社は、ある利払日において、その裁量により、本劣後債の利息の支払の全部又は一部を繰り延べることができる。
(9) 優先順位	本劣後債の弁済順序は当社の一般の債務に劣後し、普通株式に優先する。
(10) 取得格付	A (株式会社日本格付研究所) A- (株式会社格付投資情報センター)
(11) 格付会社による資本性評価	「中・50%」(株式会社日本格付研究所) 「クラス 3、資本性 50」(株式会社格付投資情報センター)
(12) 引受会社	SMBC 日興証券株式会社、みずほ証券株式会社、野村証券株式会社及び大和証券株式会社を共同主幹事とする引受シ団
(13) 財務代理人	株式会社三井住友銀行
(14) 資金使途	全額を 2020 年 10 月末までに豪州 CUB 事業の取得に伴い金融機関から借り入れたブリッジローン 1 兆 1,850 億円の返済資金の一部に充当

(注) 2020 年 10 月 15 日の翌日から 2025 年 10 月 15 日までは固定利率、2025 年 10 月 15 日の翌日以降は変動利率(2030 年 10 月 15 日の翌日及び 2045 年 10 月 15 日の翌日に金利のステップアップが発生)。

## 本劣後債の借換方針について

当社は、本劣後債を満期前に償還又は買入れにより取得(以下、「期限前償還等」といいます。)する場合は、期限前償還等以前 12 カ月間に、普通株式又は格付会社から本劣後債と同等以上の資本性が認定される証券若しくは債務により、資金調達を行うことを基本方針としています。ただし、自己資本の蓄積を進めて十分な財務基盤を構築し、豪州 CUB 事業取得前と同水準程度まで財務基盤が回復した場合等は当該資金調達を見送る可能性があります。

## 本シニア債の概要

(1) 社債の名称	アサヒグループホールディングス株式会社第 13 回無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)
(2) 社債総額	1,000 億円

ご注意:このお知らせは、公募ハイブリッド社債(劣後特約付社債)及び普通社債の発行条件決定に関して一般に公表することを目的としており、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的としておりません。公募ハイブリッド社債(劣後特約付社債)及び普通社債は 1933 年米国証券法に従って登録がなされたものでも、また今後登録がなされるものでもなく、1933 年米国証券法に基づいて証券の登録を行う又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことはできません。

(3) 利率	年 0.001%
(4) 払込期日	2020 年 10 月 15 日
(5) 償還期限(年限)	2023 年 10 月 13 日(3 年)
(6) 利払日	毎年 4 月 15 日及び 10 月 15 日
(7) 取得格付	AA-(株式会社日本格付研究所) A+ (株式会社格付投資情報センター)
(8) 引受会社	野村証券株式会社、大和証券株式会社、SMBC 日興証券株式会社及びみずほ証券株式会社を共同主幹事とする引受シ団
(9) 財務代理人	株式会社三井住友銀行
(10) 資金使途	全額を 2020 年 10 月末までに豪州 CUB 事業の取得に伴い金融機関から借り入れたブリッジローン 1 兆 1,850 億円の返済資金の一部に充当

以 上

ご注意:このお知らせは、公募ハイブリッド社債(劣後特約付社債)及び普通社債の発行条件決定に関して一般に公表することを目的としており、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的としておりません。公募ハイブリッド社債(劣後特約付社債)及び普通社債は 1933 年米国証券法に従って登録がなされたものでも、また今後登録がなされるものでもなく、1933 年米国証券法に基づいて証券の登録を行う又は登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の募集又は販売を行うことはできません。